CATEYE STEALTH 10

CYCLOCOMPUTER CC-GL10

取扱説明書

ご使用の前に必ず本書を最後までよく読んで、いつでも見られるように大切に保管してください。

※ このPDFには、YouTubeへのリンクが含まれています。「ビデオを見る」ボタンをクリックするとセキュリティに関するメッセージが表示されますので、「許可」ボタンをクリックしてください。
ブラウザが起動してムービーが再生されます。

※ 本製品のYouTubeムービーおよび取扱説明書は予告なく変更することがあります。
最新の取扱説明書(PDF)は当社ホームページからご覧ください。

※ このマニュアルは、PC（Windows／Mac）の操作および用語などの基本的な知識があることを前提に説明しています。

066601220 3

本器の特徴

計測方法

本器にはGPSと加速度センサーが内蔵されており、GPS信号を受信することでコンピュータ単体での計測を行うことができる、スピードセンサー不要のサイクロコンピュータです。

走行ルートを記録・確認する

計測中は計測データと共にGPSからの位置情報を記録します。
計測データは、PCの専用アプリ「CATEYE Sync™」に取込んで、専用サイト「CATEYE Atlas™」にアップロードすることで、あなたの軌跡や高度などの走行記録をトリップとしてサイト上のマップで確認することができます。
「CATEYE Atlas™」では、本器やカメラ付きトリップレコーダーキャットアイINOUで計測したトリップを蓄積することができ、サイクリングライフのデータベースとして活用いただけます。

正しくご使用いただくために

⚠ 警告・注意

- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- ブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

計測時の注意

計測前と計測後は **MODE** ボタンを長押しして、リセット操作を行ってください。本器はリセット操作により新たな計測がスタートするので、リセットを忘れると長期間のトリップとなります。また使用しない時は電源は切ってください。

GPS について

GPS（Global Positioning System）は、衛星から送られる高精度な位置情報などを受信して、地球上の現在位置を調べるためのシステムです。

GPS 信号の受信について

- コンピュータの電源をオンにしてから GPS 信号を取得するまでに数分かかる場合があります。
- GPS 信号サーチ中は、GPS 信号を受信するまで移動せず、とどまることをお勧めします。GPS 信号サーチ中に移動すると GPS 信号を受信するまでに更に時間がかかる場合があります。
- GPS 信号は、上空が開け、衛星に対して見通しがきく状態が受信しやすくなります。

GPS 信号が受信できない場所について

以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値が表示されない場合があります。

- トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など
- 悪天候（雪や雨など）
- 高圧電線や携帯電話の中継局の近く
- コンピュータの画面が上空を向いていない

※ 本器は GPS 信号から速度を算出するため、計測結果は実際の値とは若干異なる場合があります。

バッテリーについて

リチウムイオン充電池の能力を十分に発揮させるために下記の点をお守りください。

初めて使用するときや長期間使用しなかったとき

バッテリーは長期間放置しておくと自己放電により電圧が低下します。
ご使用の前に充電を行ってください。

充電時の注意

- 充電は炎天下の車内や直射日光下を避け、周辺温度が 5 ～ 40 ℃の範囲で行ってください。
- 充電完了後は必ず USB プラグを抜いてください。
- USB プラグにゴミなどの異物が付着していないことを確認してから充電を行ってください。
- コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
  接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。
- 充電中は振動を与えないでください。
- 接続した PC がスリープ状態では充電できません。

使用時の注意

- 高温状態での充電・放電・保管は充電池の劣化を早めます。車の中や暖房機の近くには置かないでください。
- 正しく充電を行っても使用時間に著しい低下が見られる場合は、バッテリーの劣化による寿命です。詳しくは「バッテリーの交換について」、「コンピュータの廃棄方法」（27 ページ）をご覧ください。

保管の際の注意

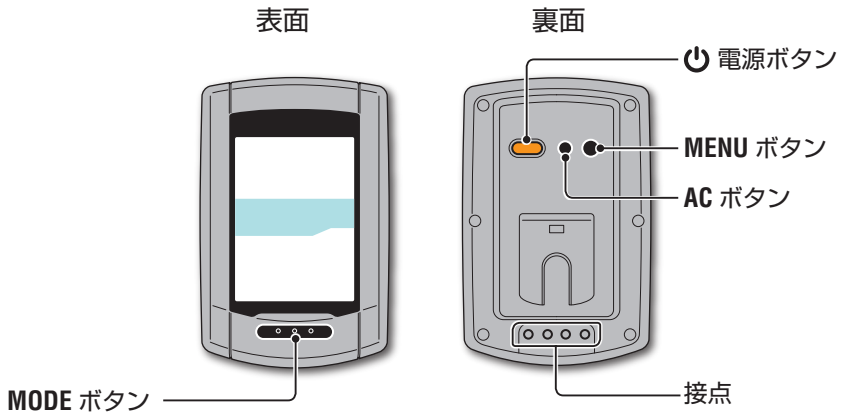
満充電での保管は避けてください。長期間使用しない場合は、ほぼ使い切った状態で高温多湿を避けて保管してください。なお、半年に 1 回 10 分程度充電してください。

廃棄の際の注意

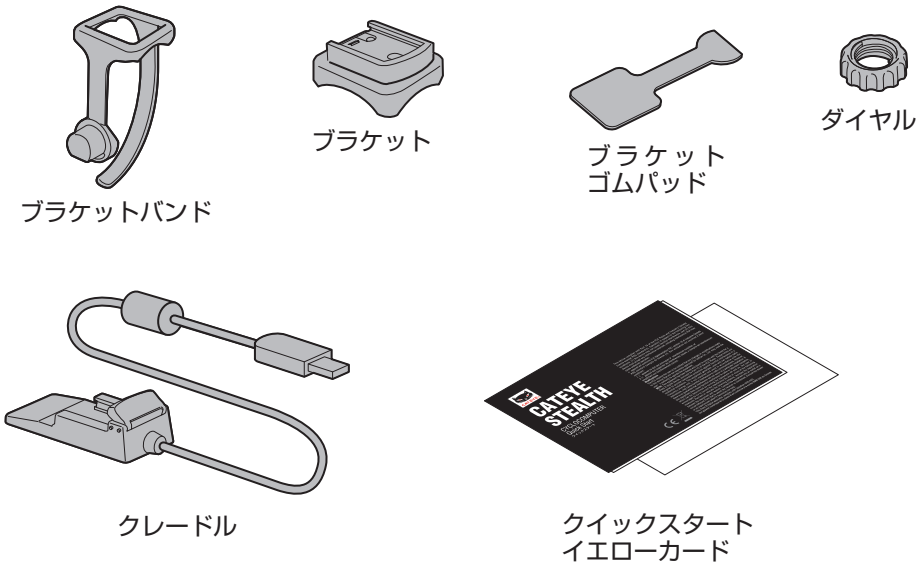
コンピュータを廃棄する際は、内部の充電池を取出してから処分してください。バッテリーの交換・廃棄方法については、「コンピュータの廃棄方法」（27 ページ）をご覧ください。

各部の名称と付属品

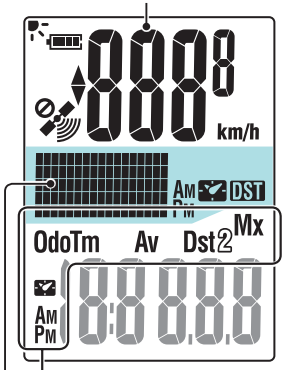
コンピュータ



付属品



画面表示について



アイコン	説明
	バッテリーアイコン バッテリー残量の目安を 5 段階で表します。 ※ 充電方法については「電源のオン / オフ・充電方法」（5 ページ）をご覧ください。
	（点灯） バッテリー残量が多い ↕ バッテリー残量が少ない
	（点滅） バッテリー残量がありません。このときコンピュータは自動的に電源オフになります。速やかに充電してください。
▲▼	**ペースアロー** 走行速度が平均速度より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。
	GPS 信号受信アイコン GPS の受信状態の目安を表します。
	（点灯） GPS 信号が強い ↕ GPS 信号が弱い
	GPS 信号非受信アイコン GPS 信号を受信できないときは点滅します。この状態では計測できません。 ※ この状態が 10 分間継続すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）
km/h m/h	**計測単位** 計測中に点滅します。
DST	**サマータイムアイコン**（Daylight saving time） ※ サマータイムの設定については「コンピュータの設定変更」（20 ページ）をご覧ください。

自転車への取付方法

ビデオを見る
（YouTube）

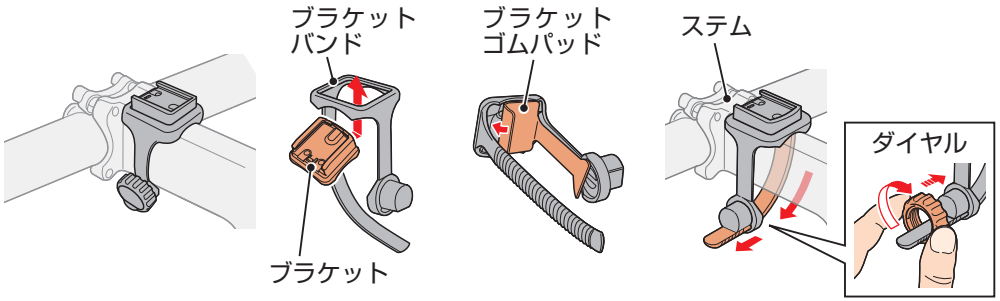
ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付ます

ブラケットはブラケットバンドへの組付けで、ステム・ハンドルバーどちらにも取付けることができます。

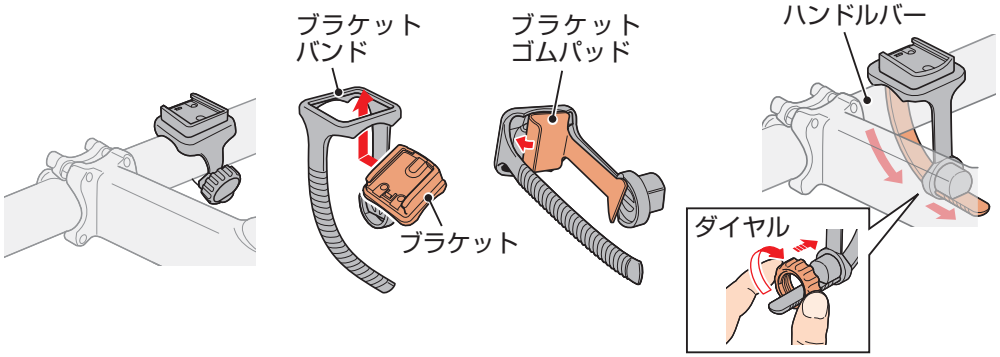
⚠注意 ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。

ステムに取付る場合



ハンドルバーに取付る場合

※ GPS 信号を受信しやすくするためにコンピュータの画面が上空を向くようにブラケットの向きを調節してください。

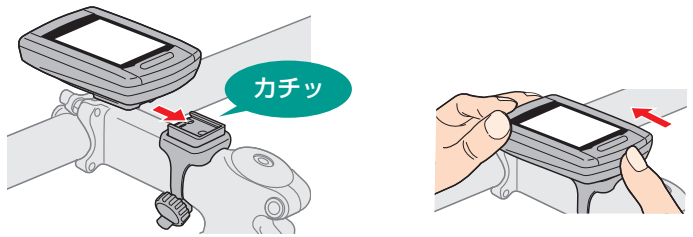


余分なバンドをはさみで切落します。

⚠注意 ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

※ エアロ形状のハンドルバーや、より太いステムに装着する場合は、オプションのナイロンタイブラケットをご利用ください。

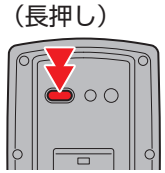
コンピュータの着脱



⚠注意 取外す際は、コンピュータが落下しないよう手を添えながら押出してください。

電源のオン / オフ・充電方法

電源のオン／オフ



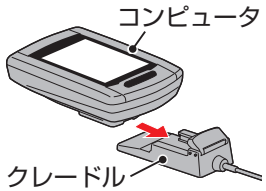
コンピュータ裏面の ⏻ ボタンを 2 秒間長押しします。

※ はじめて電源をオンにした場合は、セットアップを行います。詳しくは「コンピュータのセットアップ」（本ページ右）をご覧ください。

※ バッテリー残量が少ない場合は、以下の方法で充電してください。

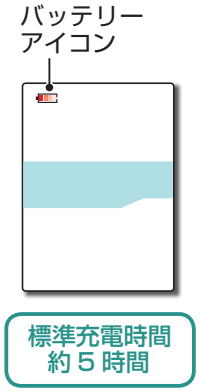
充電方法

1 コンピュータをクレードルにセットします



⚠注意 コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。

2 USB プラグを PC または市販の USB 充電器に差込みます



充電が始まると画面は（バッテリーアイコン）表示のみになります。

アイコン	説明
（アニメーション）	充電中
（点灯）	充電完了

標準充電時間 約 5 時間

※ コンピュータと PC を接続する場合、PC がスリープ状態では充電できません。

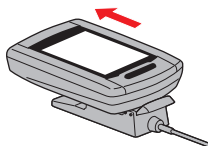
※ USB1.0 の場合、充電に時間がかかります。

※ 充電開始後、約 90 分で 80%程度の充電が完了します。

※ 標準充電時間は目安であり、使用時の環境により変化する場合があります。

※ 満充電で約 10 時間使用できます。

3 充電完了後、コンピュータを取外します



PC または USB 充電器から USB プラグを抜取り、クレードルからコンピュータを取外します。

※ 取出す際は、クレードル本体を持ちながらコンピュータに手を添えて押出してください。

コンピュータのセットアップ

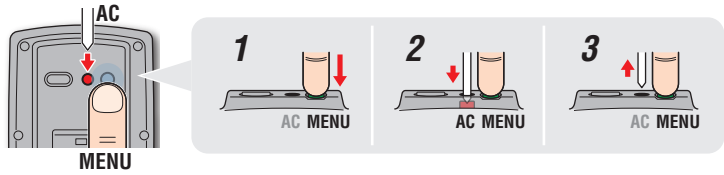
はじめて使用するときや工場出荷時に戻す場合は、以下の手順でフォーマット操作を行います。

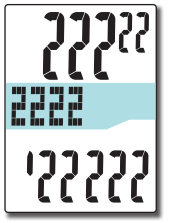
⚠注意 すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

※ セットアップを素早く完了させたい場合は、フォーマット操作後 **MENU** を 2 回押してセットアップを終了します。その後、専用アプリ「CATEYE Sync™」からコンピュータの設定変更を行うと PC を使って素早く設定することができます。詳しくは「コンピュータの設定変更」（20 ページ）をご覧ください。

1 フォーマット（初期化）します

コンピュータ裏面の **MENU** ボタンを押しながら **AC** ボタンを押します。画面にテストパターンが表示されたら **MENU** を離します。





テストパターン

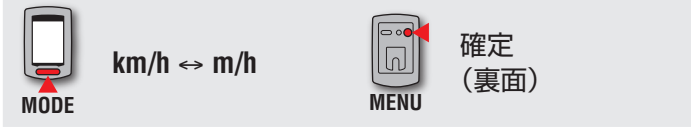
※ 画面にテストパターンが表示されず、全点灯した場合はフォーマット操作が正しく行われていません。再度、フォーマット操作を行ってください。

ビデオを見る（YouTube）

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

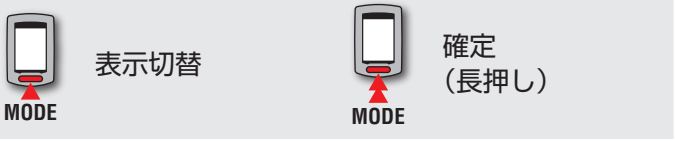
2 計測単位を選択します

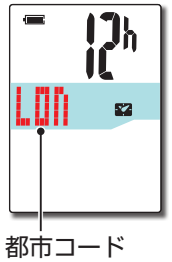
「**km/h**」または「**m/h**」を選択してください。



3 タイムゾーンを選択します

下表「タイムゾーン一覧」を参考に現在地から最も近い都市コードを選択してください。

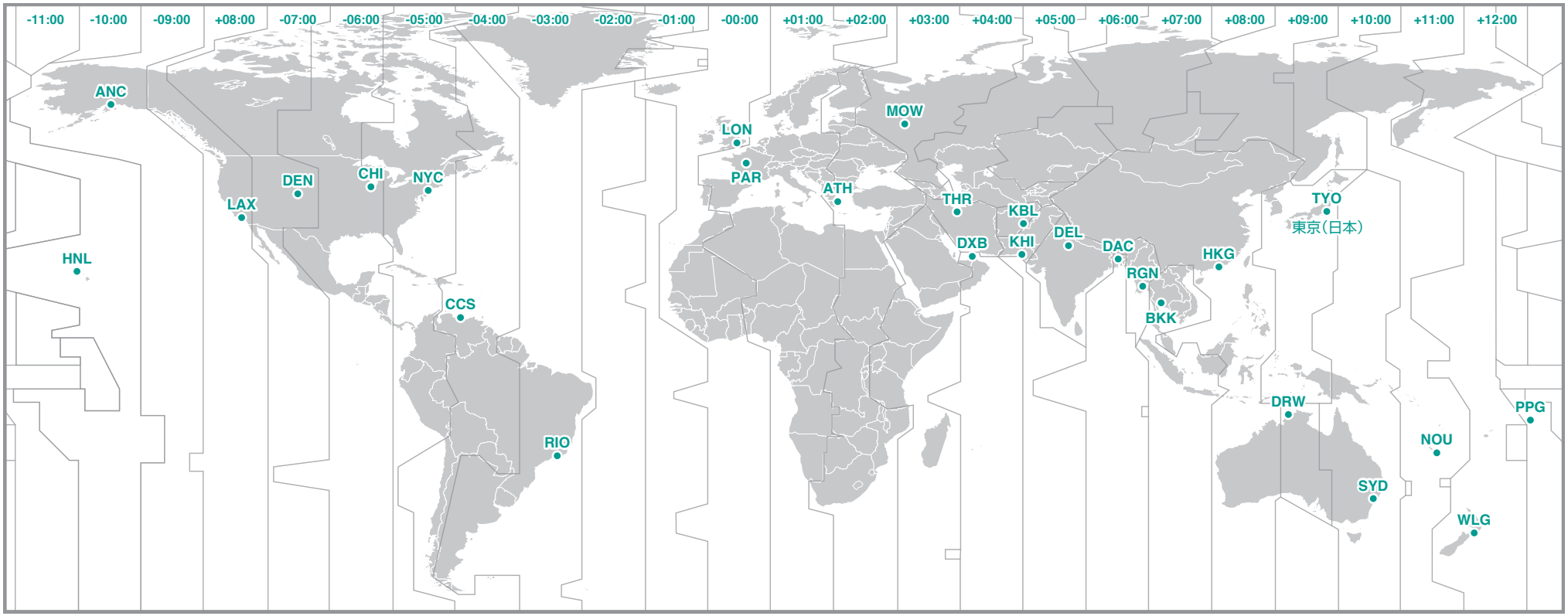




タイムゾーン一覧

都市コード	都市名	時差
LON	ロンドン	0
PAR	パリ	+1
ATH	アテネ	+2
MOW	モスクワ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9

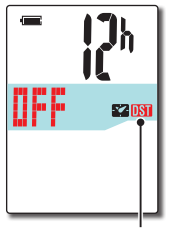
都市コード	都市名	時差
DRW	ダーウィン	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレッジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3



4 サマータイム（Daylight saving time）を選択します

※現在、日本ではサマータイムは導入されていません。
日本国内では OFF を選択してください。

サマータイムが導入されている地域の場合は、季節に応じて設定することができます。
オンまたはオフを選択してください。



サマータイム
アイコン

設定	説明
オン	通常の時刻から 1 時間進みます。
オフ	通常の時刻で表示されます。

ON ↔ OFF

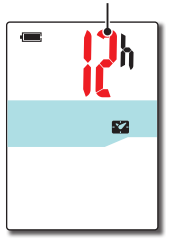
確定
（長押し）

※ サマータイムの期間に合わせ、オン／オフを切替えてください。

5 時刻の表示形式を選択します

「**12h**」（12 時間表示）または「**24h**」（24 時間表示）のいずれかの表示形式を選択してください。

表示形式



12h ↔ 24h

※ 日付・時刻は GPS 信号から取得されるため入力不要です。

6 MENU を押して設定を完了します

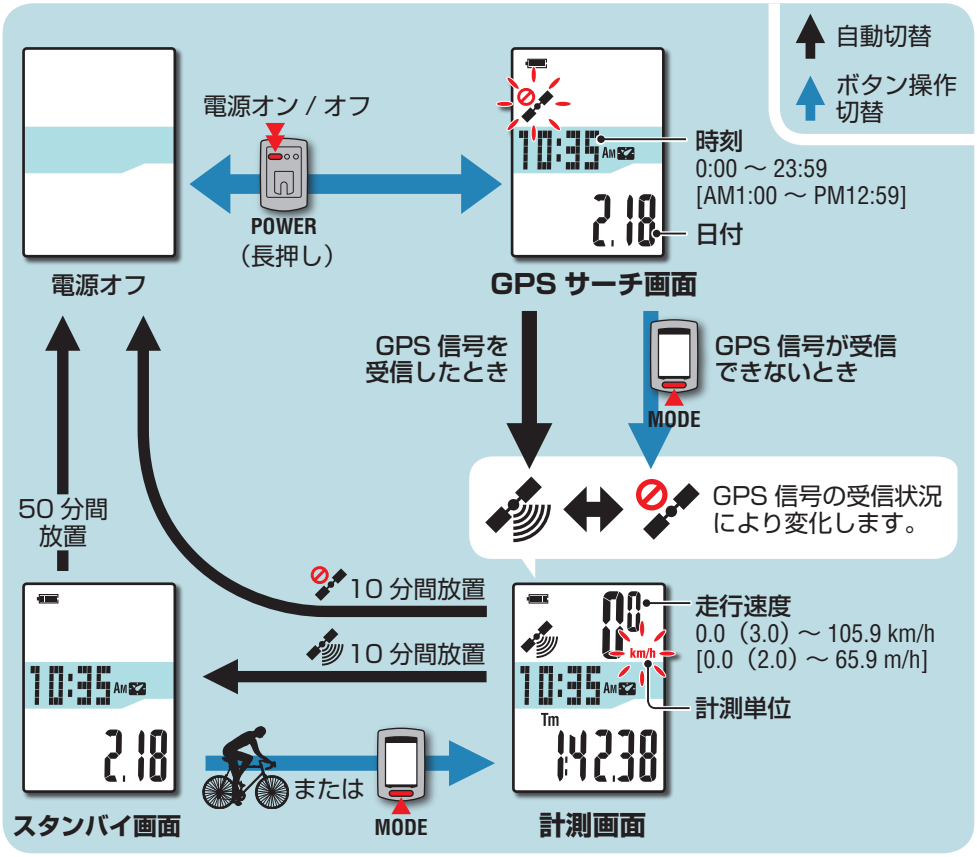
セットアップが完了し、GPS サーチ画面に切替ります。

セットアップ完了
（裏面）

以上で、コンピュータのセットアップは完了です。
使用方法については「コンピュータの使い方」（8 ページ）をご覧ください。

コンピュータの使い方

本器は GPS を使ったセンサーレス・サイクロコンピュータです。計測には必ず GPS 信号が受信できる環境が必要です。
本器には GPS サーチ画面・計測画面・スタンバイ画面の 3 つの画面があり、GPS 信号の受信状況や自転車の動作状況に応じて表示が切替ります。
ここでは電源をオンにして計測を行うまでの画面の流れを説明します。



GPS サーチ画面（電源投入時）

電源をオンにすると GPS サーチ画面が表示され、GPS 信号非受信アイコン（）が点滅します。GPS 信号を受信すると GPS 信号受信アイコン（）が点灯すると共に計測画面に切替ります。

※ 室内など GPS 信号を受信できない環境の場合は、**MODE** を押して GPS 信号非受信アイコン（）が点滅のまま計測画面に切替えることができます。

※ 本器は、電源投入後 GPS のサーチを開始します。受信状況によっては GPS 信号の受信に数分かかる場合があります。

計測画面

本器の基本画面です。計測中はこの画面で使用します。
計測のスタート／ストップ、計測中のデータ確認が行えます。
GPS 信号の受信状況により、以下のように動きが異なります。

※ 計測画面の機能については「計測画面の機能」（9 ページ）をご覧ください。

GPS 信号受信アイコン（）が点灯しているとき	GPS 信号非受信アイコン（）が点滅しているとき
計測が可能な状態で、自転車の動きに合わせて計測がスタート / ストップします。 計測中は計測単位が点滅します。 ※ 走行中でも GPS 信号が受信できなくなると GPS 信号非受信アイコン（）の点滅に変わり、計測は中断します。	この状態では走行しても計測できませんが、計測データの確認とリセット操作のみ可能です。 ※ GPS 信号を受信すると GPS 信号受信アイコン（）の点灯に変わり計測可能になります。 ※ この状態でボタンを押さずに 10 分間経過すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）

以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値が表示されない場合があります。

- トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など
- 悪天候（雪や雨など）
- 高圧電線や携帯電話の中継局の近く
- コンピュータの画面が上空を向いていない

スタンバイ画面

計測画面で GPS 信号受信アイコン（）が点灯しているとき自転車の動きやボタン操作がないまま 10 分間経過すると、自動的にスタンバイ画面に切替ります。再び動き出すと計測画面に戻ります。

※ スタンバイ画面のまま 50 分間経過すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）

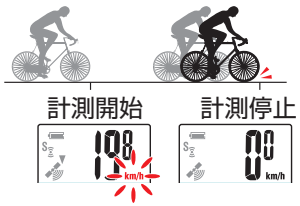
※ スタンバイ画面で GPS 信号を受信できなくなった場合は、GPS 信号非受信アイコン（）が点滅します。この場合、自転車が動き出しても計測画面には戻りません。

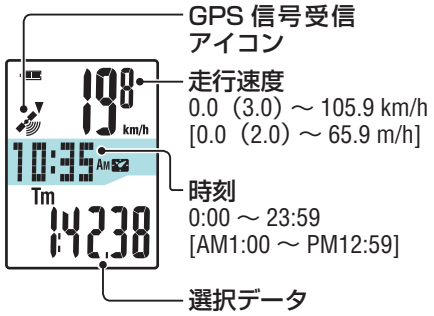
計測画面の機能

計測のスタート／ストップ

⚠注意 計測前と計測後は **MODE** ボタンを長押しして、リセット操作を行ってください。本器はリセット操作により新たな計測がスタートするので、リセットを忘れると長期間のトリップとなります。また使用しない時は電源は切ってください。

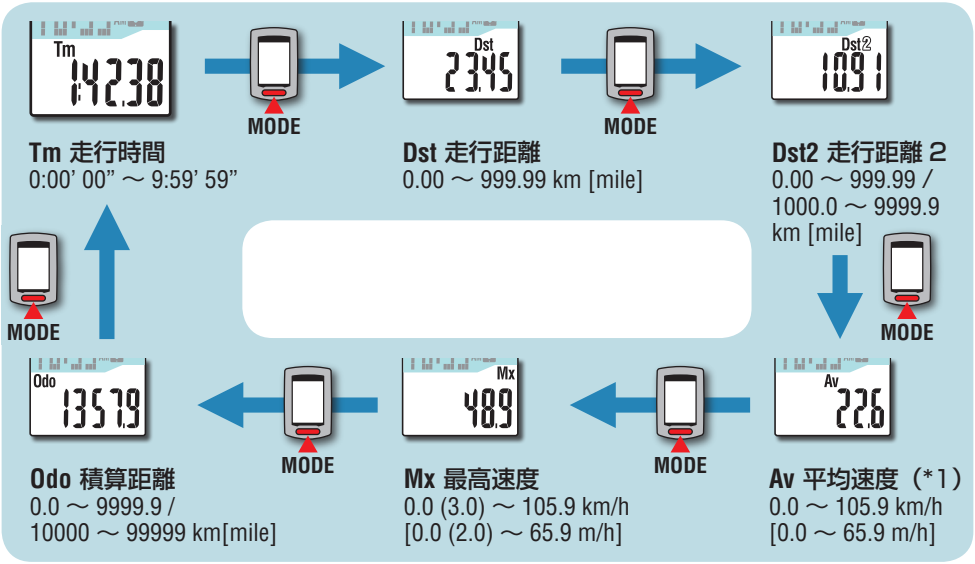
GPS 信号受信アイコン（）が点灯しているときは、自転車の動きに合わせて計測がスタート / ストップします。





選択データの切替

MODE を押すと画面下段の計測データが図の順に切替ります。



*1：平均速度は **Tm** 約 27 時間、または **Dst** 999.99 km を超えると “**.E** ” が表示され計測できません。データのリセットを行ってください。

バックライト

夜間（ナイトタイム）に使用するときはバックライトが常時点灯します。

例：ナイトタイムの設定時間：PM7:00 ～ AM6:00

バックライトの自動点灯

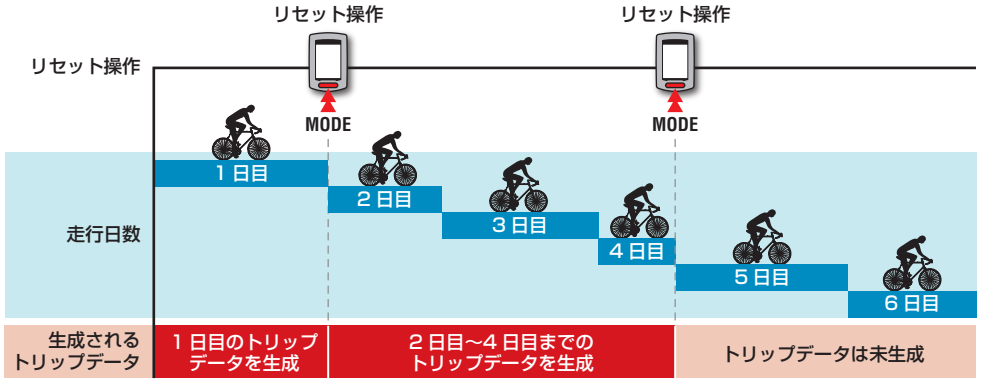
※ 夜間（ナイトタイム）の時間は自由に設定できます。
設定方法は「コンピュータの設定変更」（20 ページ）をご覧ください。

※ 初期値は PM 7:00 ～ AM 6:00 に設定されています。

計測データのリセット・トリップデータの生成

計測画面で **MODE** を押し続けると、計測データが 0 にリセットされます（リセット操作）。この時点でそれまで計測したデータがトリップデータとして生成されます。
トリップデータは専用アプリ「CATEYE Sync™」を経由して専用サイト「CATEYE Atlas™」にアップロードすることで、計測結果を確認すると共に走行記録を蓄積することができます。

（長押し）



※ 計測途中で電源をオフにしてもリセット操作をしない限りトリップは継続されます。

※ 走行距離 2（**Dst2**）は個別でリセットするため 0 に戻りません。
詳しくは、以下の「走行距離 2 のリセット」をご覧ください。
走行距離 2（**Dst2**）のデータはトリップデータとしては保存できません。

※ 積算距離（**Odo**）はリセットできません。

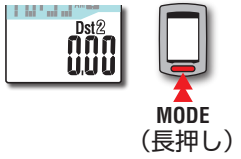
※ CATEYE Atlas™ へのアップロードについては「計測データ（トリップデータ）のアップロード」（13 ページ）をご覧ください。

※ コンピュータの記憶容量には上限があり、容量を超えると記憶できません。
詳しくは「記録間隔と容量制限」（16 ページ）をご覧ください。

走行距離 2 のリセット

走行距離 2（**Dst2**）を表示した状態で **MODE** を押し続けると、走行距離 2 だけが 0 にリセットされます。

※ 走行距離 2（**Dst2**）の値はトリップデータとしては保存できません。



（長押し）

PC のセットアップ

はじめに専用サイト CATEYE Atlas™ にアクセスして会員登録を行います。その後、PC（Windows/Mac）に CATEYE Sync™ をインストールしてください。本器で計測したトリップデータを CATEYE Atlas™ や STRAVA™、TrainingPeaks™ などにアップロードしたり、コンピュータの設定を PC から変更することが可能になります。

⚠注意 CATEYE Atlas™ へのアクセスや CATEYE Sync™ のダウンロードはインターネット接続環境のある PC で行ってください。

CATEYE Atlas™ の会員登録

- キャットアイ INOU をご使用で、既に会員登録されている場合は、同じアカウントを使用できます。
- 本器で取得したトリップデータを STRAVA™ や TrainingPeaks™ だけにアップロードする場合、CATEYE Atlas™ の会員登録は必須ではありません。CATEYE Sync™ をインストールして「トリップデータをアップロードする」（13 ページ）をご覧ください。

1 CATEYE Atlas™ にアクセスします

ブラウザで Web サイト「CATEYE Atlas™」（http://www.cateyeatlas.com）にアクセスします。

2 [新規会員登録] をクリックします

画面の手順に従って仮会員登録を行います。
登録後、CATEYE Atlas™ よりメールが届きます。
指定の URL にアクセスして本会員登録を行ってください。

※ 会員登録は無料です。

※ 入力必須事項のメールアドレス、パスワード、生年月日はメモして大切に保管してください。

3 [ログインはこちら] をクリックします

4 メールアドレス、パスワードを入力して［ログイン］をクリックします

登録したメールアドレス、パスワードを正しく入力して、ログインします。

※ 引続き「CATEYE Sync™ をインストールする」（本ページ右）をご覧ください。

CATEYE Sync™ をインストールする

CATEYE Sync™ の動作環境

OS	Windows XP（32 bit）、Vista / 7 / 8（32 bit / 64 bit） ※ .NET Framework 3.5 が必要です。 Mac OS 10.6 以降
メモリ	各 OS の推奨環境
HDD	必要な空き容量 64 MB 以上
ブラウザ	Internet Explorer 7 以降、Safari 4.0 以降、Firefox、Google Chrome 5.0 以降

CATEYE Sync™ のインストール方法

1 [CATEYE Sync 今すぐダウンロード] をクリックします

画面の手順に従ってファイルをダウンロードします。

2 ダウンロードしたファイルから実行ファイルをダブルクリックします

OS	実行ファイル
Windows の場合	[setup.exe]
Mac の場合	[CATEYESyncSetUp.pkg]

※ Windows Vista / 7 / 8 のプログラムの実行には、管理者権限が必要です。

3 画面に従ってインストールを実行します

インストールが完了すると CATEYE Sync™ が起動します。

※ 引続き「CATEYE Sync™ を設定する」（12 ページ）をご覧ください。

CATEYE Sync™ を設定する

CATEYE Sync™のインストール後､CATEYE Atlas™のログイン設定を行います。

※ トリップデータを STRAVA™ や TrainingPeaks™ だけにアップロードする場合は、以下の設定は必要ありません。

1 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの［CATEYE Sync™］をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

2 [Q シリーズ／ステルス] をクリックします

メニュー画面が表示されます。

3 [各種設定] をクリックします

各種設定画面が表示されます。

4 [ログイン設定] をクリックしてメールアドレス、パスワードを入力します

CATEYE Atlas™ の会員登録で入力したメールアドレスとパスワードを正しく入力します。

5 [設定] をクリックします

CATEYE Sync™ のログイン設定が完了します。
以上で PC のセットアップは完了です。

※ トリップデータのアップロード方法については「計測データ（トリップデータ）のアップロード」（13 ページ）をご覧ください。

※ CATEYE Sync™ では､「コンピュータのセットアップ」（5 ページ）で行った各設定項目をコンピュータに同期させることができます。
詳しくは「コンピュータの設定変更」（20 ページ）をご覧ください。

※ キャットアイ INOU をご使用の場合は、[INOU] をクリックして INOU Sync を起動します。新たにキャットアイ INOU をご使用になる場合は、別途 CATEYE Sync™ INOU 用を CATEYE Atlas™ からダウンロード、インストールしてください。

計測データ(トリップデータ)のアップロード

リセット操作により、生成されたトリップデータは以下の手順で CATEYE Atlas™ や他のサービス（STRAVA™ など）にアップロードできます。

トリップデータをアップロードする

コンピュータのトリップデータを PC に保存し、任意のトリップデータを CATEYE Atlas™、STRAVA™、TraingPeaks™ にアップロードします。

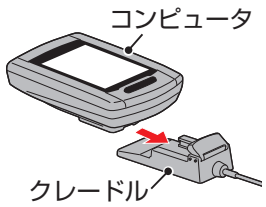
※ リセット操作していないトリップデータは CATEYE Sync™ で認識されません。
クレードルにセットする前にコンピュータをリセット操作してください。

ビデオを見る
（YouTube）

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

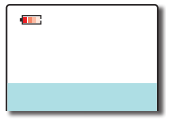
1 コンピュータをクレードルにセットします

⚠注意 コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。



2 USB プラグを PC に差込みます

画面は （バッテリーアイコン）表示のみになります。



3 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの［CATEYE Sync™］をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

4 [Q シリーズ／ステルス] をクリックします

メニュー画面が表示されます。

5 モデルに［ステルス］が選択されていることを確認して［データ取り込み／データ一覧］をクリックします

トリップデータがコンピュータから PC に転送され、データ一覧画面が表示されます。

※ 正常に転送されたトリップデータは、コンピュータから消去されます。
※ リセット操作を行っていない計測途中のデータは読込めません。

6 アップロードしたいトリップデータにチェックが付いていることを確認して、任意のアップロードボタンをクリックします

転送されたトリップデータはチェックが付いた状態でデーター覧に表示されます。

読込まれたトリップデータには、距離や時間が0になったデータが含まれます。これらは計測前のリセット操作で生成されるデータです。

※ 詳しくは「計測のスタート／ストップ」（9 ページ）をご覧ください。

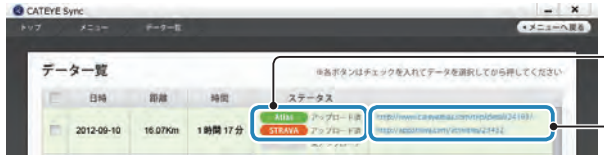
不要なトリップデータはチェックを外して、アップロードしたいサービスサイトのアップロードボタンをクリックします。

アップロードボタン	トリップデータのアップロード先
Upload to CAT EYE Atlas	CATEYE Atlas™
Upload to STRAVA	STRAVA™
Upload to TP	TraingPeaks™

※ STRAVA™ や TraingPeaks™ にアップロードする場合は、各サイトのアカウントが必要です。また、はじめてアップロードする際はサイトの認証が必要となります。アップロードボタンをクリックした後、画面の指示に従い、サイトが発行する認証コードを入力してください。

※ トリップデータの容量や回線状態によってはアップロードに時間がかかる場合があります。

アップロードが完了すると、［ステータス］欄にアップロードされたサイトとリンク（URL）が表示されます。



※ リンクの URL をクリックするとブラウザが起動して、アップロードしたトリップが確認できます。

ワンボタンアップロード

［ワンボタンアップロード］をクリックすると、トリップデータの取込みからサービスサイトのアップロードまでをワンボタンで行います。このときトリップデータは前回アップロードしたサービスサイトにアップロードされます。

※ アップロード先はワンボタンアップロードのボタン色で確認できます。（緑：CATEYE Atlas™、橙：STRAVA™、青：TraingPeaks™）

※ 任意のトリップデータだけをアップロードする、または前回と異なるサービスサイトにアップロードする場合は［データ取り込み／データー覧］ボタンからアップロードしてください。詳しくは「トリップデータをアップロードする」手順 6（本ページ左）をご覧ください。

トリップデータのエクスポート

CATEYE Sync™ に保存されているトリップデータは、エクスポートしてファイルを生成することができます。

1 データー覧画面から任意のトリップデータにチェックを付けて［エクスポート］をクリックします

ファイル形式選択ダイアログが表示されます。

※ 複数のトリップデータにチェックを付けると一度にファイルを書出すことができます。

2 書出すファイル形式をクリックします

ファイル形式	説明
CATEYESync（.ces）	CATEYE Sync™ に読込み可能なファイル ※ PC の買替えなど、これまでのトリップデータを新しい PC に移動する場合などに活用ください。
.gpx	汎用的な GPS データファイル ※ Google Earth™ などに読込み活用ください。
.fit	STRAVA™ や TrainingPeaks™ に読込み可能なファイル

保存先選択ウィンドウが表示されます。

3 任意の保存先を選び［選択］をクリックします

指定した場所にファイルが書出されます。

e-Train Data™ などのデータを CATEYE Sync™ にインポートする

e-Train Data™ に読込まれた計測データを CATEYE Sync™ にインポートすることで、CATEYE Atlas™ や他のサービス（STRAVA™ など）で活用できます。

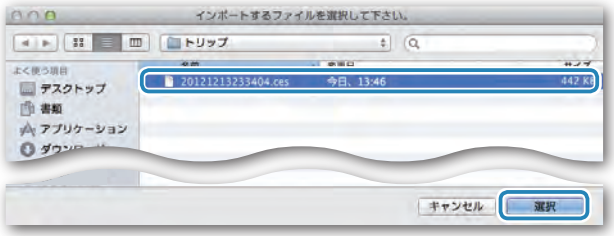
1 e-Train Data™ から計測データをエクスポートしてファイルを準備します

※ e-Train Data™ のエクスポート方法については、e-Train Data™ 取扱説明書をご覧ください。

2 トップ画面から［インポート］をクリックします

ファイル選択ウィンドウが表示されます。

3 読み込みたいファイルを選択して［選択］をクリックします



読込み可能なファイル	説明
.etd	e-Train Data™ Ver.3/4 ファイル
.csv	e-Train Data™ Ver.2 ファイル（※）
.ces	CATEYE Sync ファイル

※ 他の PC でエクスポートした CATEYE Sync ファイルも読み込むことができます。

※ e-Train Data™ Ver.2 以外で作成された CSV ファイルはインポートできません。

データー覧画面が表示され、選択したファイルがデーター覧に追加されます。

トリップデータについて

トリップデータに含まれるデータ

日付・時刻（計測がスタートした日付・時刻）

走行時間

指定した記録間隔で記録されるデータ

- 位置情報
- 走行距離
- 海抜高度
- 走行速度

記録間隔と容量制限

本器は設定した一定の間隔でデータを記録します。
記録間隔は、1 秒・2 秒・5 秒から選択でき、用途に合わせて変更できます。
(初期値：1 秒)
最大記録時間および 1 トリップの最大時間は、選択した記録間隔により以下のように変化します。

記録間隔	最大記録時間（全トリップデータの合計時間）	1 トリップの最大時間	最大トリップ数
1 秒	35 時間	12 時間	250 トリップ
2 秒	70 時間	24 時間	
5 秒	175 時間	60 時間	

※ 上記の記録時間およびトリップ数は目安であり、使用状況などにより異なります。

※ 記録間隔の設定については「コンピュータの設定変更」（20 ページ）をご覧ください。

※ 上表のいずれかの条件を超えると画面に **MEM FULL** を点滅表示させ、以降の記録ができなくなります。トリップデータを CATEYE Sync™ に移動させ、コンピュータの記憶容量を確保してください。1 トリップの最大時間を超えた場合のみ、リセット操作（10 ページ）することで別トリップとして計測を開始できます。

トリップを確認・編集・公開する（CATEYE Atlas™ でできること）

CATEYE Atlas™ にアップロードしたトリップデータはトリップ情報を編集して、公開設定することで、トリップを友達や他のユーザーと共有することができます。

1 CATEYE Atlas™ にアクセスします

ブラウザで Web サイト「CATEYE Atlas™」（http://www.cateyeatlas.com）にアクセスします。

2 [ログインはこちら] をクリックします

※ 会員登録がまだの場合は「CATEYE Atlas™ の会員登録」（11 ページ）をご覧ください。

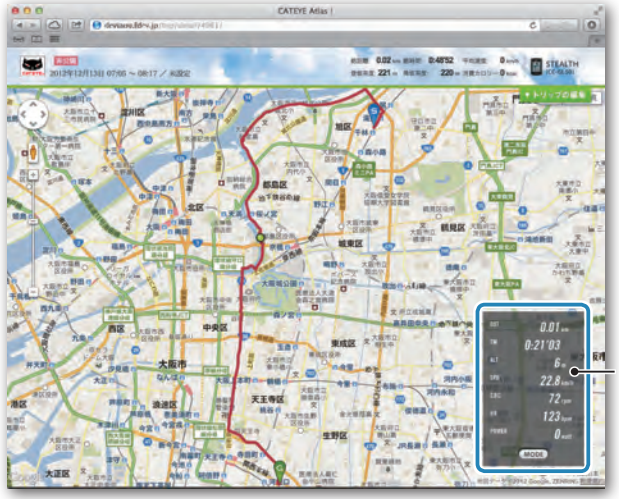
3 メールアドレス、パスワードを入力して［ログイン］をクリックします

登録したメールアドレス、パスワードを正しく入力して、ログインします。
［マイページ］が表示されます。

※ マイページでは、これまでのトリップの確認や走行実績、一定期間の目標走行距離を設定することができます。

4 アップロードしたトリップをクリックします

走行ルートが描かれたマップとメーター（計測値）が表示されます。



※ メーターの **MODE** をクリックするとメーターの表示が切替わります。

5 マップ右上の［トリップの編集］をクリックします

トリップ情報の編集画面が表示されます。
トリップのタイトルや自転車、メモなどの情報を入力してください。

6 公開設定を選択します

公開設定を選択します。

- **非公開**　　：ご自身のアカウントでのみ見ることができます。
- **公開**　　：全てのユーザーが見ることができます。
- **フレンドのみ公開**：あなたのフレンドのみ見ることができます。

7 ［この内容で保存する］をクリックします

以上でトリップ情報の編集は完了です。

GPS ポイントを削除する

ルート上から特定の GPS ポイントを削除することができます。

❶ **トリップ情報の編集画面から［GPS ポイントの削除］をクリックします**
マップ上にルートが表示されます。

❷ **削除したいルート範囲の始点をクリックします**
カーソルの動きに合わせて範囲が表示されます。

❸ **削除したいルートに範囲が重なるように終点をクリックします**
確認メッセージが表示されます。

❹ **［削除］をクリックします**
指定範囲の GPS ポイントが削除されます。

トリップを削除する

表示中のトリップを削除することができます。

❶ **トリップ情報の編集画面から［トリップの削除］をクリックします**

❷ **［削除する］をクリックします**

※ PC 上の CATEYE Sync™ のトリップデータに影響はありません。

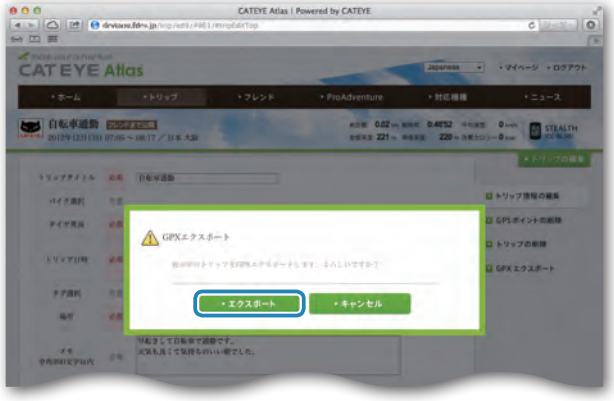
※ 削除したトリップは CATEYE Sync™ から再度アップロードすることで戻すことができます。

GPX ファイルにエクスポートする

トリップから汎用的な GPS データファイルを書き出します。
Google Earth™ など、他のソフトウェアで活用する場合にご使用ください。

❶ **トリップ情報の編集画面から［GPX エクスポート］をクリックします**
確認メッセージが表示されます。

❷ **［エクスポート］をクリックします**
GPX ファイルがダウンロードされます。



コンピュータの設定変更

コンピュータの設定変更は以下の方法で行えます。

- **CATEYE Sync™ で設定を変更する（本ページ下）**
  コンピュータと PC をクレードルで接続した状態で、PC のアプリから簡単に設定を変更できます。
- **コンピュータ単体で設定を変更する（22 ページ）**
  フィールドで設定変更をする場合にご利用できます。

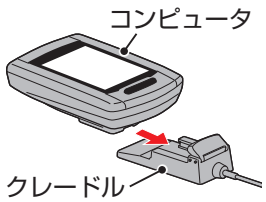
CATEYE Sync™ で設定を変更する

ビデオを見る
（YouTube）

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

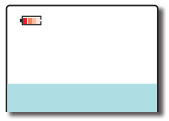
1 コンピュータをクレードルにセットします

⚠注意 コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。



2 USB プラグを PC に差込みます

画面は （バッテリーアイコン）表示のみになります。



3 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの［CATEYE Sync™］をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

4 [Q シリーズ／ステルス] をクリックします

メニュー画面が表示されます。

5 [各種設定］をクリックします

設定画面が表示されます。

6 [ステルス] をクリックして各種設定を変更します

設定を変更する前に［読み込み］をクリックして、コンピュータの設定値を読込んでください。

コンピュータに記録したデータを消去します。

現時点のコンピュータの設定値を読込みます。

下記の手順に従い設定内容を変更します。

設定項目	内容
タイムゾーン	現在地から最も近い都市コードを選択します。 ※ 詳しくは「タイムゾーン一覧」(6 ページ) をご覧ください。
サマータイム	サマータイムを適用するかどうかを選択します。 • **On**：通常の時刻から 1 時間進みます。 • **Off**：通常の時刻で表示されます。 ※ 日本では導入されていませんので **Off** を選択してください。
計測単位	速度単位（**km/h** または **m/h**）を選択します。
夜間設定	バックライトが点灯する時間を設定します。 • **夜間設定オン**：バックライトの点灯開始時刻を入力します。 • **夜間設定オフ**：バックライトの消灯時刻を入力します。 （例）PM7:00 ～ AM6:00 まで点灯する場合 夜間設定オン：19 夜間設定オフ：6 ※ 終日バックライトを点灯させたくない場合は、夜間設定オンと夜間設定オフを同じ値にしてください。
タイヤ周長	本器では使用しません。
積算距離	積算距離の開始値を入力でき、その値から加算されます。 (設定範囲：00000 – 99999) ※ コンピュータの買換時や再設定する場合に活用ください。 ※ 積算距離は整数のみを入力します。
サンプリング間隔	計測データの記録間隔を設定します。 ※ 選択した秒数により、最大記録時間（全トリップデータの合計時間）／ 1 トリップ最大時間は異なります。 • **1s**（1 秒間隔）： 35 時間／ 12 時間 • **2s**（2 秒間隔）： 70 時間／ 24 時間 • **5s**（5 秒間隔）：175 時間／ 60 時間
時間表記	「**12h**」(12 時間表示)または「**24h**」(24 時間表示)を選択します。 ※ 日付・時刻は GPS 信号から取得されるため入力不要です。

7 [設定] をクリックします

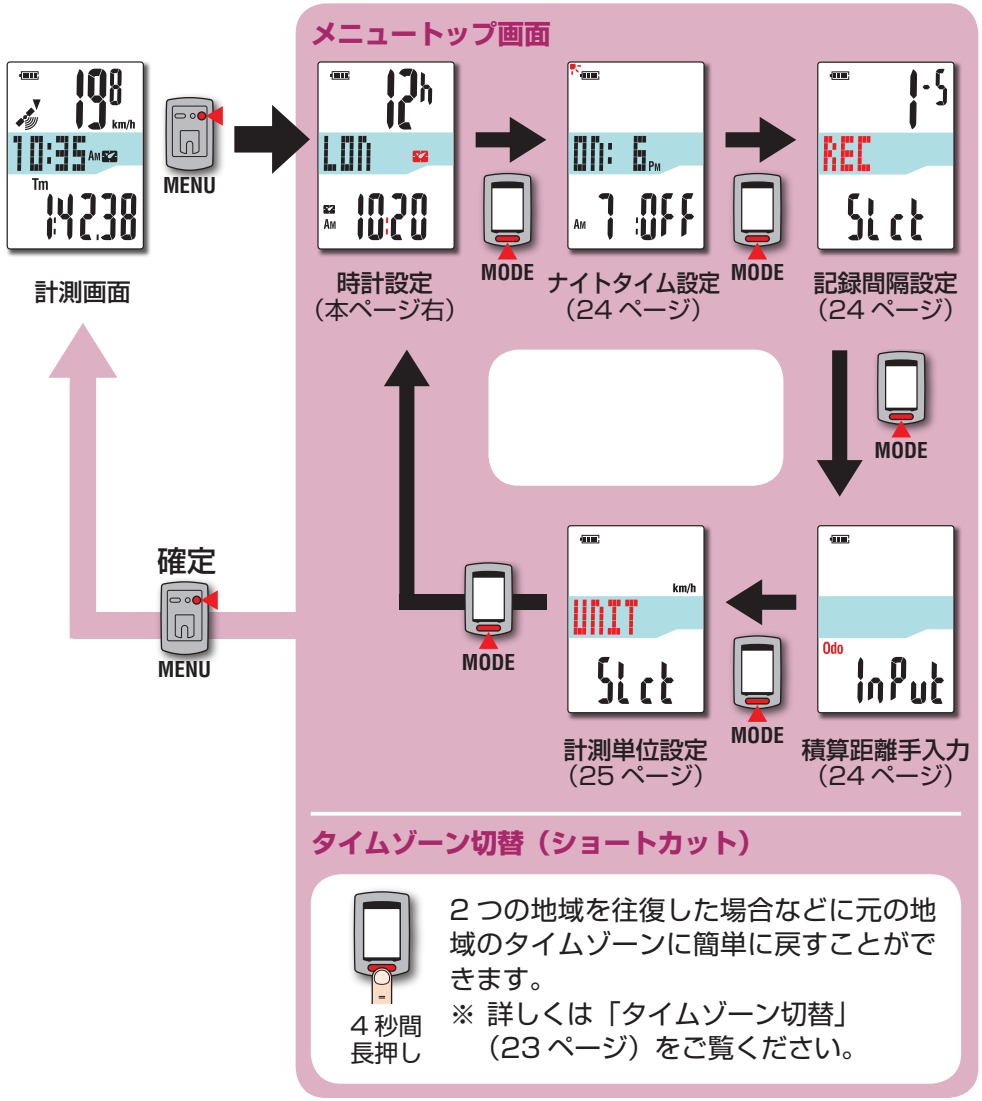
変更内容がコンピュータに反映されます。
クレードルからコンピュータを外して設定変更は完了です。

コンピュータ単体で設定を変更する

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面に切替ります。メニュー画面では、各種設定を変更することができます。

※ 設定を変更した後は、必ず **MENU** を押して変更内容を確定してください。

※ メニュー画面で 1 分間放置すると計測画面に戻ります。



タイムゾーン切替（ショートカット）

4 秒間
長押し

2 つの地域を往復した場合などに元の地域のタイムゾーンに簡単に戻すことができます。

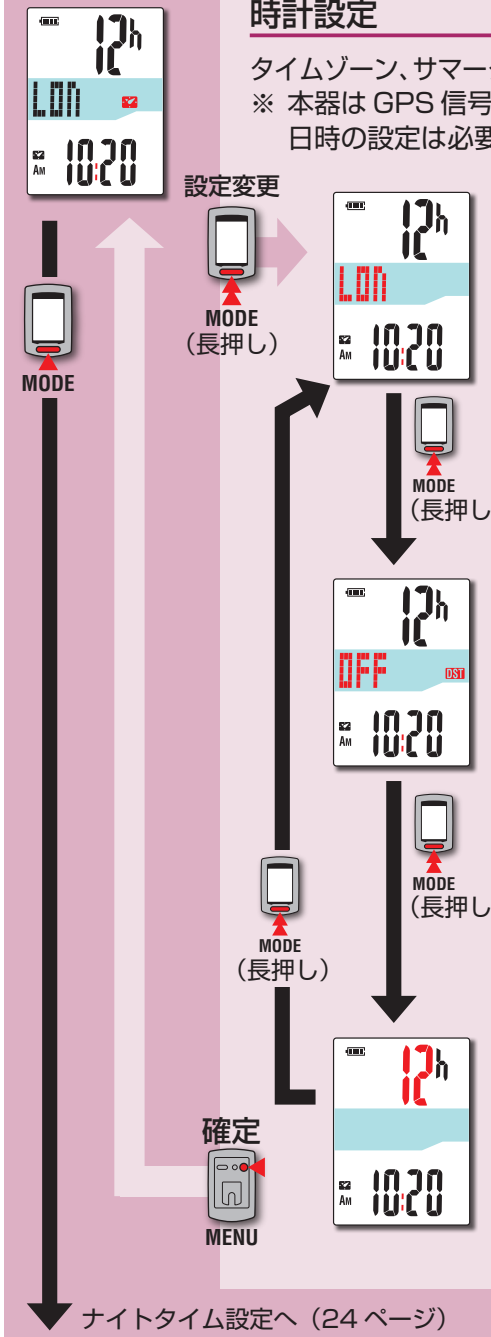
※ 詳しくは「タイムゾーン切替」（23 ページ）をご覧ください。

計測単位選択より（25 ページ）

時計設定

タイムゾーン、サマータイム、時間表示方法の設定を変更します。

※ 本器は GPS 信号を受信して日付や時刻を同期するため、日時の設定は必要ありません。



タイムゾーン

現在地から最も近い都市コードを選択してください。

MODE 表示切替

※ 詳しくは「タイムゾーン一覧」（6 ページ）をご覧ください。

サマータイム（Daylight saving time）

サマータイムを適用するか選択してください。

オン	通常の時刻から 1 時間進みます。
オフ	通常の時刻で表示されます。

MODE **ON ↔ OFF**

※ 日本では導入されていませんので OFF を選択してください。

時刻の表示形式

「**12h**」（12 時間表示）または「**24h**」（24 時間表示）を選択してください。

MODE **12h ↔ 24h**

※ 日付・時刻は GPS 信号から取得されるため入力不要です。

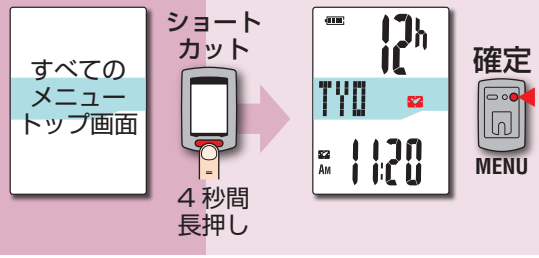
ナイトタイム設定へ（24 ページ）

タイムゾーン切替（ショートカット）

すべてのメニュートップ画面で **MODE** を４秒間押し続けるとタイムゾーンを１つ前のタイムゾーンに戻します。もう一度押し続けると元のタイムゾーンに戻ります。

例：タイムゾーン切替を行います

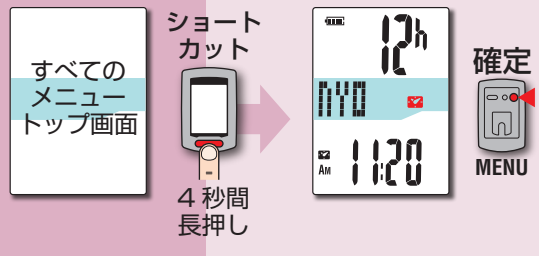
現在の設定	**NYC**（ニューヨーク）
前回の設定	**TYO**（東京）



タイムゾーンが **NYC**（ニューヨーク）から前回の設定の **TYO**（東京）に変更されます。

もう一度、タイムゾーン切替を行います

現在の設定	**TYO**（東京）
変更前の設定	**NYC**（ニューヨーク）



タイムゾーンが **TYO**（東京）から変更前の **NYC**（ニューヨーク）に変更されます。

※ タイムゾーンの異なる２つの都市を行き来する場合は、２つ目の都市でタイムゾーンを変更しても、ショートカット操作を行うことで簡単に元の都市のタイムゾーンに戻すことができます。

※ ショートカットで保持されるタイムゾーンは、１つ前の設定のみです。

タイムゾーン一覧

都市コード	都市名	時差
LON	ロンドン	0
PAR	パリ	+1
ATH	アテネ	+2
MOW	モスクワ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9

都市コード	都市名	時差
DRW	ダーウィン	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレッジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3

※ 詳しくは、６ページの地図でご確認ください。

時計設定より（24 ページ）

ナイトタイム設定

バックライトが点灯する時間を設定します。

※ 終日バックライトを点灯させたくない場合は、開始時間と終了時間を同じ時刻に設定してください。

MODE

設定変更

MODE
（長押し）

開始時間

バックライトの点灯開始時刻を入力します。

MODE 数値増加

MODE
（長押し）

MODE
（長押し）

終了時間

バックライトの消灯時刻を入力します。

確定

MENU

MODE 数値増加

記録間隔設定へ

ナイトタイム設定より

記録間隔設定

計測データを記録する秒間隔を設定します。

※ 選択した秒数により、コンピュータで記録できる最大記録時間／ 1 トリップの最大時間は変化します。

MODE

設定変更

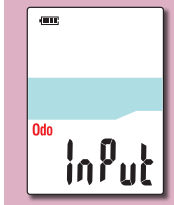
MODE
（長押し）

確定

MENU

記録間隔	最大記録時間（全トリップデータの合計時間）	1 トリップの最大時間
1-S（1 秒）	35 時間	12 時間
2-S（2 秒）	70 時間	24 時間
5-S（5 秒）	175 時間	60 時間

MODE **1-S → 2-S → 5-S**



積算距離手入力

積算距離の開始値を入力でき、その値から加算されます。買換時や再設定する場合に活用ください。

※ 積算距離は整数のみを入力します。

MODE

設定変更

MODE
（長押し）

(00000 — 99999)

確定

MENU

MODE 数値増加

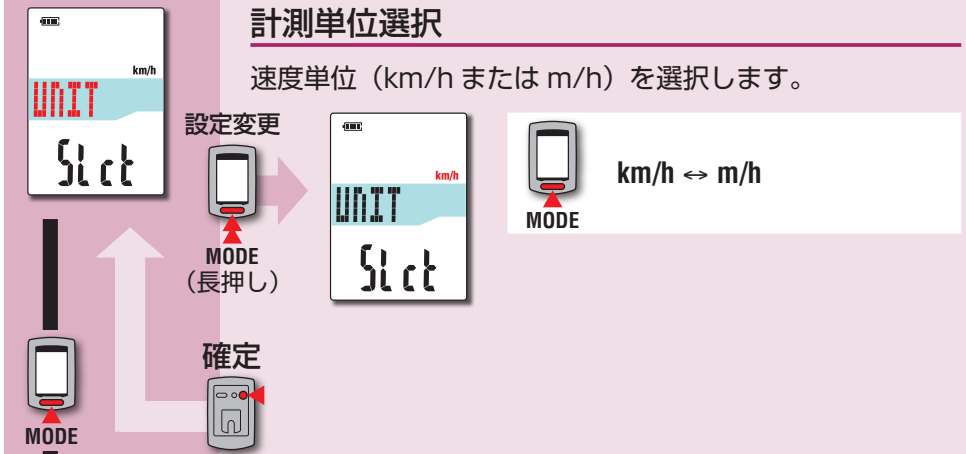
MODE 桁移動（長押し）

計測単位選択へ（25 ページ）

積算距離手入力より（24 ページ）

計測単位選択

速度単位（km/h または m/h）を選択します。



時計設定へ（22 ページ）

動作が不安定な場合

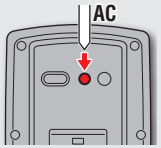
コンピュータに異常な表示が見られる場合は、動作を安定させるため、リスタート操作を行ってください。

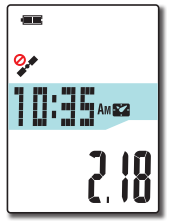
※ リスタート操作を行うと、計測途中の記録は消去されます。

※ 計測途中の場合は、リスタート操作の前にリセット操作を行いトリップデータを生成することをお勧めします。

リスタート操作

コンピュータ裏面の **AC** ボタンを押します。
画面が 2 秒全点灯して、GPS サーチ画面に切替ります。





GPS サーチ画面

保持されるデータ・消去されるデータ

リスタート操作で保持・消去されるデータは以下の通りです。

保持されるデータ	消去されるデータ
計測単位	計測途中のデータ（走行時間、走行距離、走行距離 2、平均速度、最高速度、GPS ルート情報）
時計設定（タイムゾーン・直前のタイムゾーン・サマータイム・表示方法）	
ナイトタイム設定（開始時間・終了時間）	
記録間隔	
積算距離値（※ 1）	
リセット操作で生成されたトリップデータ	

※ 1 計測後のリセット操作前にリスタート操作を行うと、その距離数は積算距離値に加算されません。

トラブルシューティング

以下の場合は故障ではありません。
CATEYE Atlas™（Web）の「Q&A」（http://www.cateyeatlas.com/qa/）と合わせてご覧ください。

トラブル	チェック項目	対処方法
電源をオンにすると（バッテリーアイコン）が点滅した後、無表示になる	—	バッテリー残量がありません。「充電方法」（5 ページ）の手順に従ってコンピュータを充電してください。
走行中に電源がオフになる	—	GPS 信号が受信できないまま 10 分経過すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）
⏻ ボタンを 2 秒間押し続けても全く表示が出ない。	コンピュータのバッテリーが消耗していませんか？	「充電方法」（5 ページ）の手順に従ってコンピュータを充電してください。
異常な表示が出る。	—	「動作が不安定な場合」（25 ページ）の手順に従ってください。
計測できない（画面に が点滅する）	電源をオンにした直後ではありませんか？	GPS 信号を受信してから位置情報を取得するまで約 2 ～ 3 分かかることがあります。
	GPS 信号が届きにくい場所ではありませんか？	トンネルの中や地下、高層ビルの間、高架の下などは GPS 信号が届かず受信できません。
	天候が GPS 信号の受信に適さない状態ではありませんか？	雨や雪の場合は、GPS 信号を受信できない場合があります。
	コンピュータの画面（アンテナ部）が上空を向くように取付けられていますか？	GPS 信号を受信しやすくするため、コンピュータの画面が上空を向くように取付けてください。

トラブル	チェック項目	対処方法
計測データの値がおかしい。	—	本器は GPS 信号により計測を行うため、受信状況により、計測が中断したり実際と異なる値を示す場合があります。
MEM FULL が点滅する	最大記録時間またはトリップ数が上限を超えていませんか？ ※ 詳しくは、「記録間隔と容量制限」（16 ページ）をご覧ください。	コンピュータを PC に接続して、トリップデータをアップロードしてください。（13 ページ） PC に転送されたトリップデータがコンピュータから消去され、新しい記録が可能になります。
	1 トリップの最大時間が上限を超えていませんか？ ※ 詳しくは、「記録間隔と容量制限」（16 ページ）をご覧ください。	リセット操作（10 ページ）して一旦トリップを終了してください。 その後は別トリップとして記録することができます。
指定時刻になってもバックライトが点灯しない。	開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定していませんか？	開始・終了時刻を同じ時刻にするとバックライトは点灯しません。 開始・終了時刻の設定は「コンピュータの設定変更」（20 ページ）をご覧ください。
明るい時間帯にバックライトが点灯する。	ナイトタイムの開始時刻は正しく設定されていますか？	開始時刻の設定は「コンピュータの設定変更」（20 ページ）をご覧ください。

メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

バッテリーの交換について

使用時間が著しく短い場合はバッテリーの寿命です。
バッテリーの交換は弊社カスタマーサービスへご依頼ください。

⚠注意 コンピュータは精密機器のため、絶対に分解しないでください。

コンピュータの廃棄方法

プラスドライバーでコンピュータ裏面のネジ（6 本）を外し、内部の電池を取り出してから廃棄してください。

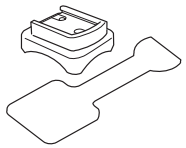
⚠注意

- リチウムイオン充電池は、リサイクルできます。寿命を終えた充電池は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 製品廃棄時以外は絶対に分解しないでください。
- 必ず、コンピュータの充電池を使い切ってください。
- 取出した充電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲込んだときは、すぐに医師にご相談ください。

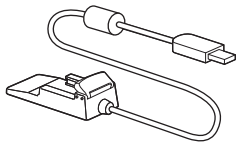
別売部品

1600280N
ブラケットバンド

1602193
ブラケット



1603790
クレードル（IF-CC01）



製品仕様

計測機能	上段表示	走行速度	0.0（3.0）～ 105.9 km/h [0.0（2.0）～ 65.9 m/h]
	中段表示	時刻	0:00 ～ 23:59 [AM1:00 ～ PM12:59] （12/24h 表示切替可能） （GPS による自動照合）
	下段表示	走行時間	0:00'00" ～ 9:59'59"
		走行距離	0.00 ～ 999.99 km [mile]
		走行距離 2	0.00 ～ 999.99 / 1000.0 ～ 9999.9 km [mile]
		平均速度	0.0 ～ 105.9 km/h [0.0 ～ 65.9 m/h]
		最高速度	0.0（3.0）～ 105.9 km/h [0.0（2.0）～ 65.9 m/h]
		積算距離	0.0 ～ 9999.9 / 10000 ～ 99999 km[mile]
		日付	1.1 ～ 12.31 （GPS による自動照合）
バッテリー	リチウムイオン充電池		
充電及び通信	USB クレードル		
標準充電時間	約 5 時間（USB2.0）		
標準使用時間	約 10 時間		
繰返し充放電回数	標準300 回（定格容量の70%の容量低下まで）		
制御方式	マイクロコンピュータ（水晶発振器）		
表示方式	液晶表示（EL バックライト：ナイトタイム常時点灯）		
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃ （動作保証範囲 : 範囲外は表示の視認性が悪化します）		
寸法・重量	69 x 45 x 22.4 mm / 60 g		

※仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

製品保証について

2 年間保証：コンピュータのみ（バッテリーの消耗は除く）

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前に E メール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させて頂きます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

ホームページ上でこの製品のユーザー登録が行えます。ご登録いただくと、
ご希望によりニュースレターを配信させていただきます。
http://www.cateye.com/jp/support/regist/

［宛先］株式会社キャットアイ カスタマーサービス
〒 546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号
TEL:　(06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX:　(06)6719-6033
ホームページ　http://www.cateye.com
E メール　　support@cateye.co.jp